

街やショッピングモールがきれいに飾り付けられて、いよいよシーズン到来、わくわくしてきます。みなさんは今年のクリスマスをどのように迎えますか。家族や友人との食事を考えたり、プレゼントを用意する時間は楽しいことです。

かく言う私が小学生の頃、クリスマスをどのように過ごしていたか思い出してみました。当時、新聞には冊子になったおもちゃ屋の広告が折り込まれていました。広告には夢が詰まっています、ペンで印を付けながら、「あれも欲しい、これも欲しい」と来る日も来る日も穴があくほど見ていました。その頃の私は、長く続かないことで一時的な満足を得ようとしていました。

た。形あるものはいつか壊れてしまうことや、好みが変われば、いざ別なものを欲することが分かるまで、多くの時間とお金を使ったものです。

「すべての人を照らす光」との光があつて、世にきた」という聖書の言葉があります。そこには、2つの意味があります。

1、すべての人を照らす光
本当に苦しんでいる人、悲しんでいる人にも届いて、すぐ側に寄り添ってくださる光です。また、神様なしでもやっ

に、イエス様は、先行き不安な人の道しるべの光となつてくださいます。イエス様が指し示してくださるのは天に

南加キリスト教教会連合

「すべての人を照らす光」

井下 泰文

さてクリスマスは何をお祝いしているのか思い巡らした

ことは、この光に照らされたい人はいないという言い方

です。イエス様は、全世界のどのような身分の人であつても

照らすことができる光として

と、いう意味があります。

来られました。ですから、今

で、ほほ月明かりと車のヘッドライトに頼って移動しま

す。今年のクリスマスは、お

す。その教会は田んぼの真ん中に

あり、近隣には街灯がまばら

で、運転してくれた方は道を

近頃の教会で迎えてみませんか。

数年間、手伝っていた教会

で、お慰めをいただきました。

か、私一人ではたどり着けな

か。

か。

か。

か。

か。

(ウエストコピナキリスト教会)